

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成18年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一	利用者	1人
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者家族	1人
	1人	1人	1人	地域包括支援センター	1人
				近隣事業所	0人
				事業所職員	3人
				その他	0人
				合計	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	●各項目の改善計画を一覧表にし、職員連絡ノートに貼り付けるなど可視化に努める。引き続き事業所会議にて取組状況を確し実施する。	●各項目の改善計画を一覧にし、目に見えらる場所に掲示したが多様な利用者支援から日常支援に追われ、意識化まで至らなかった。しかし、月に1回開催している事業所会議において、進捗状況の確認は実施していた。	●小規模多機能型居宅介護事業所での勤務経験の浅い職員が多く評価項目の理解しやすラツキがある。サービス評価を理解しやすいため、評価前の学習会は継続した方がよいと思う。 ●改善計画に取り組みなかつた計画は、継続し実践して欲しい。	●スタッフ評価や事業所評価項目に対する理解を深めるため、評価前に学習会を開催する。 ●改善計画の取組み状況を、月1回、事業所会議にて確認し確実に実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	●利用者や接する時には表情や声のトーン等に留意するとともに、言葉遣いにも気を付け、利用者の気持ちに落ち着き過ぎやすい環境となるよう努める。 ●定期的に換気や消臭を行うことで、不快を感じない環境作りに努める。	●職員は利用者や接する際には言動に気を付け対応していた。 ●新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、常に換気を行ったり、利用者同士の距離を保てるよう食事席の配置を変更したり、仕切りを設置した。	●広報紙等でご利用者の様子を拝見し、穏やかな表情が伺えた。 ●利用者家族アンケートにおいて、職員の手配ができていたり、困りごとにご相談しやすくと感じているため雰囲気が良いと思われる。 ●伺った際に不快な音や匂いは感じない。利用者家族アンケートからも多くのご家族が同様に感じている。 ●事業所に伺った際、鍵が掛かっていた事は一度もない。	●ホールや玄関などの壁面に季節に応じた飾り付けを行い心地よい空間とする。 ●季節の植物を花壇に植えたり、野菜を育て収穫し召し上がって頂いたりし四季を感じて頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	●事業所内行事や様子を広報誌の他、ホームページに掲載し、雰囲気や様子を深信し、事業所を知っていただける機会を増やす。(ホームページをリニューアルする。)	●施設内行事や施設での日常をホームページに掲載し、より広い範囲で施設を知って頂ける機会が作れた。	●利用者家族アンケートにおいて、挨拶や相談ができていたとの回答が多数だったことから、親切に対応されていると感じた。(4名) ●事業所の様子を広報誌に掲載し、町内会などに配布されていることから、広く周知されていると思います。ご利用者の写真について、不自然な加工が見受けられるため、検討が必要と考えます。 ●町内会の掃除や小学生との交流（花壇の水やり）など、地域の行事に参加されていると思います。	●介護保険制度に加え、認知症や介護技術に関するセミナーを地域で開催し、地域との関係を築く。
D. 地域に向い本人の暮らしを支える取り組み	●地域包括支援センターや利用者個々が暮らしている地域の方々から催しや行事などの情報をお聞きし希望する地域行事に、職員と一緒に参加する。 ●四季が感じられるようにドライブに出かけたり、馴染みの飲食店の持ち帰りで食事	●新型コロナウイルス感染防止のため、地域行事やドライブに出かける機会が少なく、野外活動を企画することも難しかった。	●お花見ドライブなどの活動写真を拝見し、外出されている様子が伺えた。 ●利用者家族アンケート結果を拝見し、ご利用者と職員が外出していることを確認できた。(3名) ●運営推進会議資料でイベントや季節の花	●四季を感じられるように、利用者個々が希望する地域への外出やドライブに出かけたり、事業所内のイベントを企画し実施する。 ●運営推進委員や地域包括支援センターとの連絡を密にし、知り得た地域に関する情報

	を楽しんでもらう。		を見に出かけている様子を拝見している。	報を利用者に発信する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>●法人が定期に開催している認知症カフェに職員が参加し、介護相談や地域の方々の困りごと等をお伺いして、その内容を運営推進会議で検討する。</p>	<p>●新型コロナウイルス感染症防止のため、認知症カフェへの職員の参加を控えた。</p>	<p>●運営推進会議の資料は、活動の様子などの写真を資料に盛り込まれていて、わかりやすいと思います。(2名)</p> <p>●個人情報保護の観点から、地域の心配の方等の事例検討会を運営推進会議で行うことは、控えるべきではないか。</p>	<p>●運営推進会議の際には、活動の様子の写真や制作した作品を見て頂き事業所の取組みを報告し、活発な意見交換の場とする。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>●引き続き防災訓練等を定期的に開催し、有事の際には全職員が適切に対応できるように避難場所や避難経路の周知に努める。</p>	<p>●5月、10月に併設事業所合同の避難消火訓練、9月に水害時避難訓練を実施し、有事の際の適切な対応が行なえるよう周知に努めた。</p>	<p>●防災計画を運営推進会議で示され把握している。(5名)</p> <p>●運営推進会議日に防災訓練が設けられ、参加させていただいた。詳細を書面で確認させてあり分りやすかった。</p> <p>●防災訓練を定期的の実施し、振り返りを事業所全体で行っているため、心強いと思います。</p> <p>●併設事業所と連携が図れ災害時、事業所は頼りになりそうである。</p>	<p>●避難訓練への参加を地域の方々や民生委員等に依頼し、訓練内容や当事業所の避難所としての役割について、説明する。</p> <p>●事業所で実施する「AED講習会」に地域の方にも参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内を行う。</p>